

2021年度三郷サンサンハウス事業報告

(2021年4月1日～2022年3月31日)

I 事業実施の方針

[1 はじめに]

長引くコロナ禍で厳しい状況が続きました。また今年度は大きな転機を迎えました。長年にわたり認知症介護に取り組んできた中での苦渋の決断でしたが、認知症対応型のデイサービスセンターあかねの里は、常勤職員の退職に伴い事業の継続が困難となり休止致しました。いつも明るい笑い声の絶えない憩いの場所として、利用者や地域の皆様に支えていただいてきたことを感謝しています。大きな試練ですがピンチをチャンスにできるよう職員一丸となり励んでいます。事業所としては利用者・職員・地域にとってどうありたいか、常に理念を基準に考えています。そのためには安定した経営状況が不可欠であり、模索しながら改善に取り組んできました。

A.1 年間の取り組み

○奈良県条例指定 NPO 法人の指定を更新しました。厳しい審査を受け、公明公正な運営を認めていただきました。サンサンハウスの事業に賛同し寄付をしていただくと個人住民税の寄付金控除の対象となります。いただいた寄付はサロン運営などの社会貢献に役立てました。

○新型コロナウイルス感染症は変異しながら流行を繰り返しています。感染発生時には利用者や職員の健康・身体・生命を守るための対策本部を設置し、事業の継続や早期再開にむけての取り組みを行ってきました。助成金を活用し感染予防対策を徹底し、休業補償任意保険加入などの体制も整えました。

B.経営改善への取り組み

○必要に応じて事業所の垣根を超える兼務を行いました。様々な支援を行うことで職員個人だけではなく組織としても成長し、緊急時にも連携を行い滞りなく支援が継続できる体制がとりやすくなりました。ヘルパーステーションから萌の里へ管理者を異動し、24 時間 365 日を支える体制を強化しました。ヘルパーステーションでは、サービス提供責任者が新たに管理者となり活躍しています。

○事業所研修は、コロナ感染状況をみながら開催を見合わせてきましたが、年度後半では新任研修や感染症対策研修を行うことができました。

○各事業所から次世代を担う中堅職員が集まり、2か月に一度中堅交流会を開催しました。所属以外の職員との交流でそれぞれの気づきを持ち寄り、課題について意見交換するなど、リーダーとして成長しています。職員の意見やアイディアを募集する意見箱の設置や代表者会議への提案も行いました。

C.地域との関わり

○引き続き地域との関りを縮小せざるを得ない一年でした。地域密着型サービス

では運営推進会議の開催ができず書面での報告をさせていただきました。コロナ流行が縮小した時期には、感染対策を行いながら自治会行事に参加することができました。

○サンサンニュースは掲載内容など紙面の読みやすさを検討し改善しました。事業所の様子を知っていただくため、継続的に発行し三郷、斑鳩、平群など近隣地域に配布しました。

[2. 特定非営利活動に係る事業]

(1) デイサービスセンターあかねの里 (介護保険法に基づくデイサービス A.1年間の取り組み 事業及び第1号通所事業)

○コロナ禍の影響が長引き、厳しい状況が続きました。また、常勤職員の退職に伴い、利用者に安心して頂ける充分な介護をすることが困難となり 9 月末をもって事業を休止せざるを得なくなりました。

B. 経営改善への取り組み

○2021 年度は介護収入が不安定な状態から始まりました。経営改善のため地域居宅に営業として回ることを計画しました。

○職員間での密な連絡を心掛け、利用者の立場にたった介護を目指しました。

C. 地域との関わり

○昨年に引き続きコロナ禍を鑑みてサポートー養成講座、運営推進会議ができませんでした。

(2) デイサービスセンターくるみ (介護保険法に基づくデイサービス事業

A.1年間の取り組み 及び第1号通所事業)

○コロナの影響が続き、長引く自粛生活に精神的にも身体的にも落ち込みやすい年でした。こんな状況だからこそデイサービスの役割は重要で、感染対策にご協力いただきながらも気持ちよく体を動かし、楽しく話すなどして過ごしていました。

○くるみの役割は運動による身体機能の改善はもちろんのこと、脳活性化や精神的、身体的機能の維持改善に役立つ機能訓練を行うことです。楽しく継続することができ、心配や不安が和らぐよう、利用者との信頼関係づくりを基本に、楽しい時間の創造・共有に努めました。

B. 経営改善への取り組み

○職員がご利用者にしっかりと向き合い、デイサービスに来たいと思ってもらえるような空間づくりをすることで、大きな利用減少はなく安定した経営につながりました。逆に介護保険外事業「くるみ style」においてはコロナの影響が大きく利用控えが続き収入減少となりました。

○職員の育成においては、本人の目標と事業所として担ってほしい姿を明確にし

て取り組み、事業所の質の向上につながっています。会議と研修を毎月行い職員一人一人が個性を発揮しながら、丁寧な対応と優れた介護技術を身につけ、利用者に喜んでいただける事業所を目指しました。

C.地域との関わり

- 地域においては、コロナの影響で、昨年度も運営推進会議は開催できませんでした。
- 介護保険外事業「くるみ style」は全体では利用が減少しましたが、機能訓練士が運動療法を行うリハビリプログラムでは利用希望が増え、介護保険を利用されない方にも運動療法の必要性を感じてもらいました。

(3) ヘルパーステーション(介護保険法に基づく訪問介護事業及び第1号

A.1年間の取り組み 訪問事業)

- 利用は月平均で合計 72 名前後(内訪問ヘルパー利用者は 48 名、介護タクシーのみは24名)の利用がありました。1ヶ月の各支援の平均回数は、身体介護中心型が 160 回、生活援助が 262 回、介護タクシーが 99 回でした。
- 職員人数が減少しましたが、法人内の他事業所からの応援により、支援を継続することが出来ました。
- ケアマネとの連携、栄養面や健康管理など報告・連絡・相談をして、一人暮らしの方も安心して生活を出来るよう、支援しました。
- 身体介護では、体調の変化があれば訪問看護へ連絡し、医療との連携を図り本人や家族の不安や負担を軽減するように努めました

B.経営改善への取り組み

- すでに利用されている方の支援の形を変えることなく継続させることを優先とし、新規の依頼はしばらく受けできませんでした。利用者減少してきているため、今後少しづつ増やしていくよう、努めます。
- 常勤 2 名(管理者、サービス提供責任者)、非常勤 8 名(ヘルパー7名、ドライバー1名)で活動しています。

C.地域との関わり

- 連携する居宅支援介護支援事業所は 12 社、30 人以上のケアマネージャーから依頼を頂いています。情報共有をしっかりと行い、地域での役割を担ってきました。

(4) 小規模多機能ホーム萌の里 (介護保険法に基づく小規模多機能型居宅

A.1年間の取り組み 介護事業)

- 2021 度も感染症の予防対策を試行錯誤する日々でした。新型コロナウイルス第五波では職員から陽性者が発生し、利用者・関係者の皆様にもご迷惑をかけてしまいました。職員から利用者・他の職員に感染することなく自宅待機期間を終了でき、職員一同安心しました。さらなる予防策としてアイガード

ドの着用・不織布マスクでの対応を強化しました。

- 重松管理者が訪問介護事業所からの異動で、緊急利用の受け入れなど柔軟に対応する体制を強化することができました。

B.経営改善への取り組み

- 利用者においては年間平均 18 名の登録を維持することができました。自宅で生活したいという思いに寄り添いながら支援してきました。

毎月の会議の時間も短縮せざるをいけない状態が続き、内部研修も十分に行うことができませんでした。

外部への研修は開催回数が少ないながらも、オンラインでの研修に参加することができました。小規模ネットワークの会の研修では、コロナ禍の現状についてオンラインでの情報共有ができ心強いものでした。

- 運営推進会議を開催することができず、昨年同様活動報告書を作成し報告終了とさせて頂きました。

C.地域とのかかわり

- 今年度においても、人とのかかわりに制限をしないといけない状態が続きました。例年行事が開催できない一年となり地域の方とのかかわりを十分には行うことができず今後の関かかわり方を模索中です。

地域で再開された体操・夜回りなどは感染対策を十分に行なう上で参加し、地域の方とのかかわりを少し持つことができました。

(5) 居宅介護支援事業所(介護保険法に基づく居宅介護支援事業)

A.1年間の取り組み

- コロナ禍が長引き、自由に外出できない、家族や親しい人に会えない、感染への不安等で、利用者の閉じこもりや不活発が心配されました。そのような中、少しでも明るく穏やかに過ごせるように、月々の訪問で安心を、細やかな連絡調整で信頼してもらえるよう取り組みました。

- コロナ感染予防・拡大防止のため消毒、換気、三密回避、感染防護など自分達にできることを継続して行い、「感染しない、感染させない」意識を常に持って業務にあたりました。

- 一堂に会しての研修は軒並み中止となりましたが、コロナによる副産物・zoomなどによるオンライン研修が導入されました。初めは戸惑い、こちらの雑談が他の参加者に漏れてしまっていたという失敗も経ながら、徐々に慣れていきました。新しい知識を得る、学びなおす喜びを再び感じ、自己研鑽に取り組む機会も(コロナ前に比べると)少ないながら得られました。

- 8月からヘルパーステーション管理者の人事異動、交代により人手不足となった訪問や乗降、また共同住宅の萌の里支援の補充にあたりました。法人内の他事業所をフォローしながら三郷サンサンハウス全体の存続維持の一端を担うという

役割を果たせました。

B.経営改善への取り組み

○経営面では、利用者が死亡・入院・入所等で減少しても、夏頃から管理者が他事業所の応援に回ったり、新人ケアマネのフォローに追われ、また法人内のコロナ対応等もあり、新規利用者の受け入れを控えざるを得なかつた状況が続き、居宅内の経営収支が赤字となってしまいました。

○様々な事由によりケアマネ交代となってしまうケースが年間数件ありました。昨年度は年間を通じて利用者 100 名の数値目標を掲げて黒字を達成できたものの、数字を追いかけ過ぎた歪みがこのような形になって今年度現れてしまったのだと思います。利用者やその家族に寄り添った支援や十分な傾聴、ケアマネージメントの質を保持していくには100名の目標には無理がありました。来年度は数値目標の調整も必要であると痛感しました。

○7 月に非常勤の新人ケアマネを雇い入れ、その指導やサポートをしました。次世代を担うケアマネージャーの採用には至りませんでした。

C.地域との関わり

○地域の人たちからの電話や来所による相談にはスピーディーかつ丁寧に対応するよう努めました。

○利用者が使っている介護保険サービスの事業者との連携を密に、大切にし、様々な場面で協力体制が取れるよう努めました。

(6)ヘルパーステーション(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する

A.1年間の取り組み ための法律に基づく障害福祉サービス事業)

○現在は不定期の家事援助1名、通院介助1名の合計2名が利用中です。

B.経営改善への取り組み

○訪問は介護保険のヘルパーが兼務で行っています。障害の特徴についての理解や知識を深め、細やかな支援ができるように努めました。

C.地域との関わり

○連携した特定相談支援事業所は 2 社です。通院介助の支援では、訪問看護事業所、成年後見人にも診察内容、かかった費用などを報告しています。

(7)特定相談支援事業所(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援す

A.1年間の取り組み るための法律に基づく特定相談支援事業)

○管理者 1 名、相談支援専門員 2 名(いずれも居宅と兼務)の体制。

○3 名の利用者。それぞれの計画作成・モニタリングを行っています。

○町の福祉課の主催でオンライン研修があり、私たちの住む西和 7 町にも特定相談支援事業所が思いの外いくつもあることを知り、横のつながりが頼りになることに気づきました。

(8) 介護保険法に基づく訪問看護事業 今年度の実施計画なし

(9) サンサンサロン（自立支援事業）

A.1年間の取り組み

○引きこもりがちな方達に他人と関わりをもって、笑顔になれる時間を提供する事を目指しました。利用者の皆さんが高い齢になり、パッチワーク、編み物、小物づくり等、以前はできていたことが難しくなったので、簡単で楽しくできる事を探しました。

○サンサン体操は認知症予防の脳トレゲームですが、手遊びは先導する側も多少間違えた方が、場が和みます。利用者の笑顔を導く事も重要な認知症予防です。

B.経営改善への取り組み

○新規会員募集のお知らせをサンサンニュースに掲載したり、利用者のお友達へのお誘いをお願いしました。

C.地域との関わり

○事務所で通年手作り品を販売していますが、ボランティアの作品がほとんどでした。今年は11月に利用者が楽しんで折った祝箸袋を販売しました。

(10) 高齢者の家あかねの里（共同住宅事業）

A.1年間の取り組み

○長引くコロナの影響で自粛生活を余儀なくされ外出も最小限にし、感染対策を徹底しました。

○利用者の生活に不便が生じないよう職員でアイディアを出し合いミーティングを行い提案することができた。

○家族との連絡を密にし報告や相談を行いました。

B.経営改善への取り組み

○職員がご利用者の細かい変化に気づく事が出来るように毎日の申し送りや会議で話し合った事を共有しました。

C 地域とのかかわり

○コロナの影響でほとんどの行事が行われない中でも清掃活動には必ず参加しました。ご近所の方、地域の方への挨拶を心掛けています。

(11) 24時間生活支援事業(たすけあいの会)

A.1年間の取り組み

○今年度の利用者は15名で、内10名は介護保険サービスも併用しています。家事援助や保険外の入浴見守りの定期利用が7名その他は不定期で大掃除やゴミ出し、通院付添、月平均では8名、44回程度の利用がありました。

B.経営改善への取り組み

○訪問ヘルパー やサンサンハウスの職員が兼務して活動しました。体調や生活での困りごとの相談に対しての助言を行うなど、介護事業所のメリットを活かした支援を行いました。

C.地域との関わり

○積極的な営業活動はしていませんが、サンサンニュースで見た地域の方から依頼を頂きました。

○地域包括支援センターを通じて依頼を受けることもありました。困ったときの拠り所となれるよう、心掛けました。

(12) ボランティア育成及び広報・研修事業

A.1年間の取り組み

○当法人の広報の要として、年3回、各6,000部のサンサンニュースを折作業や配布にボランティアの協力を得て、三郷町と近隣の地域に配布しました。読みやすさを考慮して紙面を工夫して改良しました。

○例年ボランティアの皆さんとささやかな親睦会を開いていましたが、昨年度に引き続き、コロナウイルスの感染拡大を予防するため開催することができませんでしたが、日頃の感謝の気持ちを込めて新年にご挨拶と記念の品をお渡しました。

B.経営改善への取り組み

○当初から8ページのサンサンニュースを昨年から7ページに縮小しましたが、内容は変わらずに手作業と経費を改善しました。

C.地域との関わり

○本部建物前の掲示板を利用して、当法人の活用内容をお知らせしています。通りがかりの求職者の目に留まり、職員採用の問い合わせにつながる場合もありました。

(13) 福祉タクシー（外出支援事業）

A.1年間の取り組み

○送迎は介護保険利用が主で、保険外の福祉タクシー利用回数は月平均2回程度でした。

○利用ごとの清掃、消毒、換気を徹底し、安全に気持ちよく利用いただけるよう努めました。

B.経営改善への取り組み

○普通自動車二種免許と介護福祉士資格を持つドライバー1名、登録車両1台で送迎を行いました。安全運転と安心できる乗降介助技術で、また利用したいと言っていただけるような対応を心掛けました。

○利用は予約制ですが、近隣のケアマネージャーや病院からの依頼があるときは、可能な限り緊急利用にも対応しました。

C.地域との関わり

○三郷町、平群町、王寺町のタクシー券が利用できるため、地域の方からの依頼がありました。

(14) 給食サービス事業 今年度の実施計画なし

(15) グループホーム事業 今年度の実施計画なし

(16) 地域交流支援事業

A.1年間の取り組み

○通年サンサンサロンの手作り品を展示販売しています。今年度は祝箸の袋や手縫いのミニクリスマスツリーといった季節感溢れる品物も好評でした。

○本部建物の玄関フロアで、写真や貼り絵、色紙といった利用者の作品を提示しています。また、新鮮野菜や果物をはじめ、常設のお茶等好評で、地域の方がちょっと立ち寄れる場になっています。

C.地域との関わり

○開放的で入りやすい雰囲気を心掛けました。地域の住民がちょっとした相談のために訪れてくれています。

○この数年、萌の里を中心とする「おばあちゃんの駄菓子屋さん」「観月祭」など地域の方々が楽しみにして下さった行事が取りやめになっています。コロナ収束で子どもたちやお年寄りが気楽に集まれる場が待たれています。

[3. その他の事業]

(1) 物品販売事業

A.1年間の取り組み

○地方の農家から新鮮な季節の果物や、地元産のお茶や野菜、カレンダーを継続して販売しました。お茶は入手しにくい新しい種類も揃えました。

C.地域との関わり

○新鮮で安価な野菜を提供し、利用者や地域の方に喜ばれています。

II 事業の実施報告に関する事項

[1. 特定非営利活動に係る事業]

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業員の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出見込額(千円)
介護保険法に基づく デイサービス事業及び 第1号通所事業	認知症対応型デイサービス	通年	デイサービスセンター あかねの里 (東信貴ヶ丘1-5-12)	8	三郷町周辺の 認知症高齢者 延べ1,700人	8,366
介護保険法に基づく デイサービス事業及び 第1号通所事業	機能訓練型デイサービス	通年	デイサービスセンターくる み(東信貴ヶ丘1-2-27)	9	三郷町周辺の 要介護者 延べ2,000人	10,941
介護保険法に基づく訪 問介護事業及び第1号 訪問事業	訪問ヘルパーの派遣サービス	通年	要介護者の自宅	12	三郷町周辺の 要介護者 延べ800人	17,440
介護保険法に基づく小 規模多機能型居宅介 護事業	通い・訪問・泊りのサービスで 利用者の在宅生活を1日24時 間365日を支援	通年	小規模多機能ホーム萌の 里(三郷町三室2-5-22) 及び利用者の自宅	20	三郷町周辺の 要介護者 延べ210人	48,074
介護保険法に基づく居 宅介護支援事業	相談援助及び介護支援計画作 成	通年	要介護者の自宅	4	三郷町周辺の 要介護者 延べ1200人	9,481
障害者の日常生活及 び社会生活を総合的 に支援するための法律 に基づく障害福祉サー ビス事業	障害者の自立支援のための サービス提供	通年	要介護者の自宅	3	三郷町周辺の 要介護者 延べ30人	227
障害者の日常生活及 び社会生活を総合的 に支援するための法律 に基づく特定相談支援 事業	障害者の自立支援のための相 談支援	通年	要介護者の自宅	3	三郷町周辺の 高齢者 延べ20人	76
介護保険法に基づく訪 問看護事業	ケアプランによる訪問看護		今年度事業計画なし	0		0
自立支援事業	介護保険外の介護予防デイ サービス	週3回	サンサンサロン (美松ヶ丘東1-10-9)	1	三郷町内の高齢 者延べ330人	352
共同住宅事業	住宅型有料老人ホーム	通年	高齢者の家あかねの里 (東信貴ヶ丘1-5-12)	9	三郷町内の要介 護高齢者 延べ72人	6,653
24時間生活支援事業	高齢・障害・疾病・育児・出産 等で支援が必要な人への24時 間支援事業	随時	利用者の自宅	10	三郷町周辺の 利用者 延べ80人	301
ボランティア育成及び 広報・研修事業	地域住民や介護従事者等を対 象とした介護技術や知識等の 研修事業	通年	三郷町周辺	5	三郷町周辺の 住民不特定多数	261
外出支援事業	要介護・要支援・身心障害者 等の通院等の移送支援	通年	利用者の自宅から病院等 外出目的地	1	三郷町周辺の 高齢者等 延べ20人	34
給食サービス事業	楽しい会食、配食で在宅高齢 者の食生活を支援する		今年度事業計画なし	0		0
グループホーム事業	認知症高齢者を対象としたの 共同住宅		今年度事業計画なし	0		0
地域交流支援事業	地域の人々の要望を取り入れ た交流の場の提供	通年	萌の里あづまや(三郷町三 室)、デイサービスくるみ (三郷町東信貴ヶ丘)	10	三郷町周辺の 住民不特定多数	526

[2. その他活動に係る事業]

物品販売事業	新鮮・安全野菜や食料品、手 作り品などの販売。 収益は非営利活動に充当。	通年	事務局ホール(三郷町東 信貴ヶ丘1-2-27)	4	三郷町周辺の 住民不特定多数	105
--------	--	----	----------------------------	---	-------------------	-----